

平成27年度 新人看護職成長体験発表会を開催しました

看護部 看護部長 はた みえこ
秦 美恵子

平成 28 年 2 月 3 日・10 日に、「印象に残った私の看護エピソード」と題し新人看護師 68 名により体験発表を行いました。

患者さんへのかかわりを通して、「自分自身が患者急変時に何もできなかったことで自信を失いそうになった」「先輩看護師、指導者からの言葉で学んだ」「パートナーシップ・ナーシング・システム (PNS) で先輩と一緒にケアを行う中で患者説明の技術を学んだ」「認知症の患者さんへの言葉かけの方法を学んだ」などの発表がありました。

新人看護職の卒業校から教員の方も 13 名 (本学以外は 6 名) 参加して頂き、「個々の頑張る力や先輩の指導があり、ここに立って発表出来たことが成果である」のコメントを頂きました。

最後に、入職初日の緊張した日から三瓶リフレッシュ宿泊研修などの 1 年間の研修風景の写真を流し 1 年の軌跡を共有しました。各部署の指導者からは、1 年間での成長と今後の期待が込められた先輩からのメッセージを流しました。

この体験発表により患者さんを理解しようとする気持ちを持ち、次につなげるためには自分自身が何をしたらいいのかを考え 1 年間の自己の看護を振り返るよい機会になり、前向きに 2 年目を迎えようとする様子が見られる発表会となりました。



島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

3月15日～4月14日

対象者: **一般** 一般市民 **医療** 医療関係者 **本学** 本学教職員・学生

開催日	時間	開催名	場所 (★印 学外開催)	対象者
3/15 (火)	9:30～11:30	平成27年度 島根県がんビ「アサ」-ター相談会	外来・中央診療棟3階カフアリスルームだんだん	一般
3/15 (火)	18:00～19:00	初級 心音聴診	外来・中央診療棟2階カハスピアセンター	医療 本学
3/16 (水)	13:30～14:30	市民公開講座 健康な次世代を創るために 「第3回 胎内の赤ちゃんの成長と生活習慣病」	医学部 講義棟 1階国際交流ラウンジ	一般
3/25 (金)	15:30～16:30	平成27年度 第4回肝臓病教室 「進行した肝臓病のお話し」	病棟2階 レストラン「ラカエラパン」	一般
3/25 (金)	16:30～17:30	平成27年度 第4回家族支援講座 「肝臓病の患者さん・家族が作る食事」	病棟2階 レストラン「ラカエラパン」	一般

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



NEWS



CONTENTS

- 医療事故調査制度について
- 医療事故調査制度～当院の対応について～
- 平成27年度 新人看護職成長体験発表会を開催しました
- 島根大学医学部における 研修会・講演会・セミナー開催情報

図. 県内医療機関で発生した医療事故への当院の支援体制

医療事故調査制度 ～当院の対応について～

医療安全管理室 室長 もりた えいしん
森田 栄伸

医療事故調査制度の趣旨

医療事故調査制度は、過去に起きた医療過誤事例を鑑み、医療事故の再発を防止することにより医療の安全を確保することを目的とした制度で、改正医療法に基づき平成 27 年 10 月から実施されています。

医療事故調査制度に係る調査の仕組み

予期せぬ死亡又は死産が発生した場合、医療事故調査・支援センター（以下、センター）にその事例を報告することが義務付けられています。医療事故調査に際しては、各県に設置された支援団体に支援を依頼することができます。医療機関は、遺族へ医療事故調査制度とセンターへの報告の必要性を説明し、センターへ事例の概要を報告します。その後、院内医療事故調査委員会を開催し、医療事故の原因調査と今後の対策の検討を行います。調査結果は遺族へ説明するとともにセンターへ報告します。センターは、医療機関が行った調査結果に係る整理・分析を行い、再発防止に関する普及活動を行います。

報告対象となる事例

報告対象は「医療機関に勤務する医療従事者が提供した医療に起因し、又は起因すると疑われる死亡又は死産であって、当該医療機関の管理者がその死亡又は死産を予期しなかったもの」と定義され、過誤の有無は問われません。火災、地震や落雷などの天災による施設管理に関連するもの、併発症、原病の進行、自殺、院内で発生した殺人・傷害致死は含まれません。



院内医療事故調査委員会

医療事故の原因を明らかにするため、当該医療機関に院内医療事故調査委員会（外部専門家を含むことが望ましい）を設置し、診療録その他診療に関する記録、医療従事者等のヒアリング、検査記録、解剖や Ai の結果などにより情報収集し、整理します。センターに報告する調査結果には、当該医療従事者等の関係者は匿名化され、院内調査の内部資料は含まれません。本制度の目的はあくまで医療安全の確保であり、個人の責任を追及するためのものではありません。

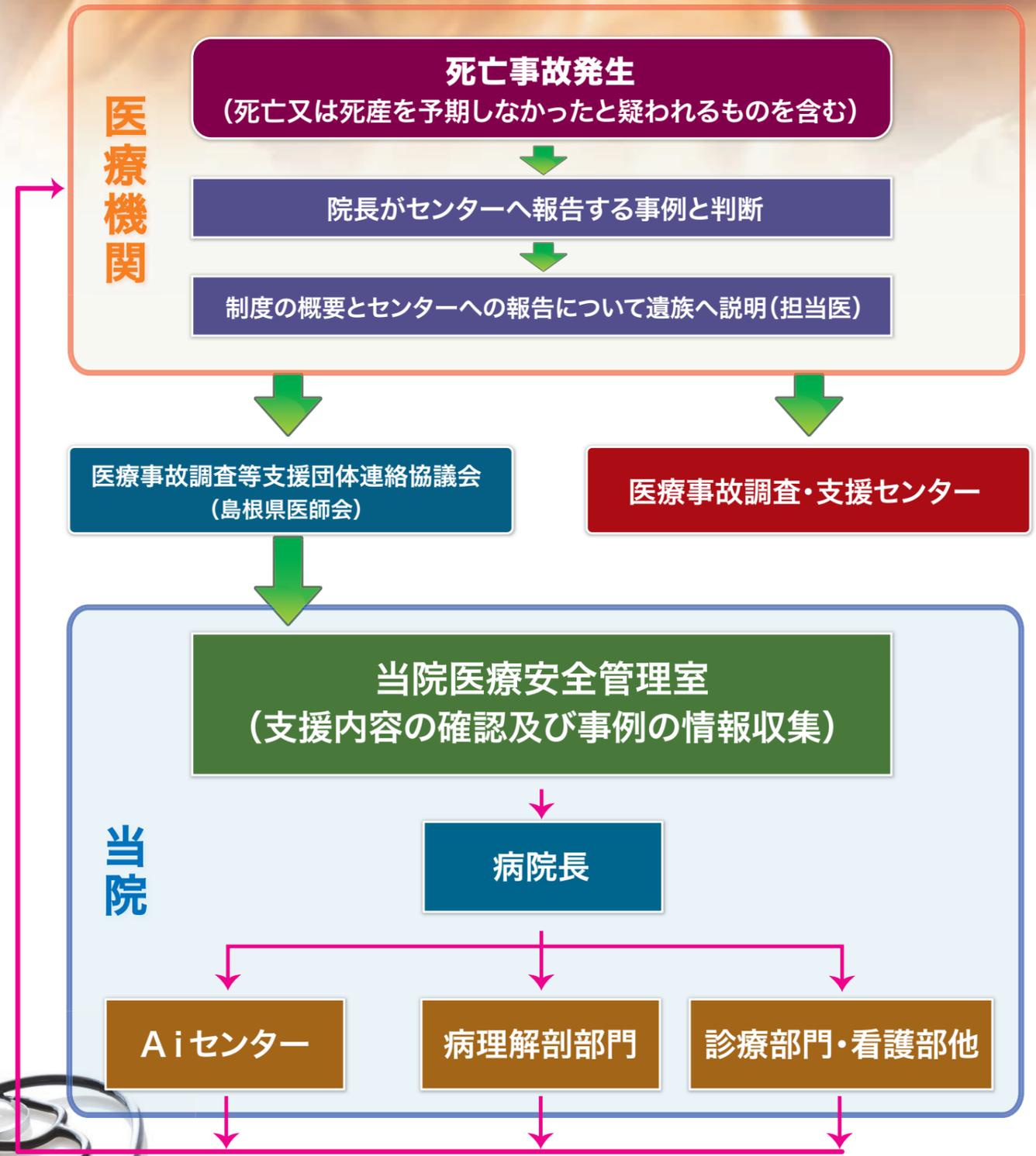
鳥根県における医療事故調査支援団体

医療事故調査に係る支援は、鳥根県では県医師会に設置した医療事故調査等支援団体連絡協議会（以下協議会）が窓口となり、院内事故調査委員会に必要な外部委員の派遣、解剖、Ai などの支援業務をしています。この支援業務においては、当院が中心的な役割を担うことになります。既に、県内でセンターへの報告事例が発生しており、当院から他医療機関の院内事故調査委員会へ委員を派遣しています。

県内医療施設で発生した医療事故への当院の支援体制(図)

県内医療施設で発生した死亡又は死産に際して、当該院長がセンターに報告する事例に該当すると判断された場合は、医療事故調査制度とセンターへの報告の義務について担当医が遺族へ説明した後、センターへ事例の概要を報告いただきます。併せて、事故調査に必要な支援（Ai、病理解剖、医療事故調査委員の派遣）を協議会に依頼することになります。協議会は、当院の医療安全管理室を窓口として Ai、病理解剖、医療事故調査委員の派遣依頼を伝達します。当院では支援内容の確認及び事例の情報収集後、病院長が必要な支援を各部門へ要請します。支援業務については予め協議会が支援業務内容の申し合わせを定め、契約を締結しています。

図 県内医療機関で発生した医療事故への当院の支援体制





島大病院ニュース
2016年3月

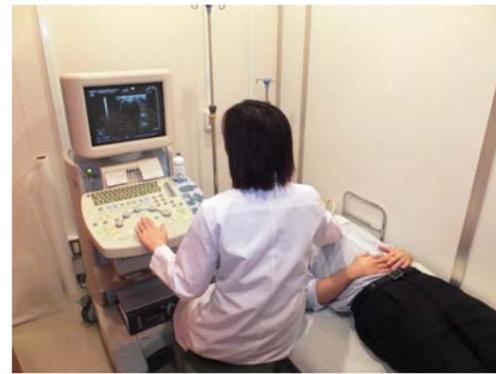
お知らせ



「甲状腺疾患専門外来」を開設しました

内分泌代謝内科 副診療科長 やまうち みか
山内 美香

内分泌代謝内科は各種内分泌疾患や糖尿病、脂質異常症、骨粗鬆症をはじめとする代謝疾患について、月～金曜日の毎日、初診、再診の対応ができる外来体制としています。この度、特にご紹介いただくことが多い甲状腺疾患について専門外来を開設いたしました。



甲状腺疾患専門外来では、穿刺細胞診を要する甲状腺腫瘍性病変や難治性バセドウ病、甲状腺疾患を伴う妊婦例など、一般内科診療では困難な甲状腺疾患の診療を主に行います。甲状腺疾患専門外来受診日と同日に超音波検査や穿刺細胞診検査を行える体制を整えています。甲状腺疾患は手術や放射線治療を要する場合や眼症を認める場合など、他診療科との連携が欠かせません。これまで以上に耳鼻咽喉科や放射線治療科、眼科をはじめとする他診療科などと連携をとり診療にあたります。

甲状腺に異常を認める場合は甲状腺疾患専門外来にご紹介下さい。なお、これまで通りいずれの内分泌代謝内科外来も甲状腺疾患のご紹介をお受けいたします。

● 甲状腺疾患専門外来 隔週水曜日

本年の予定

3月23日	7月27日	11月2日
4月6日	8月10日	11月16日
4月20日	8月24日	11月30日
6月1日	9月7日	12月14日
6月15日	9月21日	12月28日
6月29日	10月5日	
7月13日	10月19日	

問合せ先 内科外来
TEL:0853-20-2381

予約先 地域医療連携センター
TEL:0853-20-2061

お知らせ
島大病院ニュース

平成28年3月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース
2016年3月

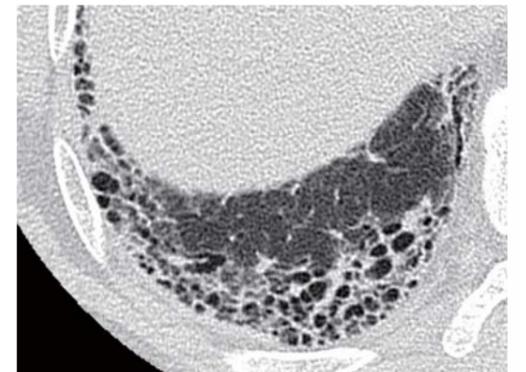
お知らせ



間質性肺炎外来の開設について — 抗線維化薬の登場 —

呼吸器・化学療法内科 診療科長 いそべ たけし
磯部 威

間質性肺炎は疾患の種類が多彩で呼吸器疾患の中でも診断が難しいとされています。代表的疾患は特発性間質性肺炎、膠原病肺、過敏性肺炎（夏型、鳥飼病など）などがあります。さらに抗がん薬や抗リウマチ薬による薬剤性の間質性肺炎や、粉塵吸入による職業性の間質性肺炎も注目されています。診断目的に、詳細な問診や高分解能CT、呼吸機能検査、血清マーカー、気管支鏡検査、気管支肺胞洗浄液の解析、胸腔鏡下肺生検が行われます。最終的には当院でも導入されている病理、放射線、呼吸器の各専門医が集まって行う集



特発性間質性肺炎の高分解能CT画像：
蜂巣肺が肺底部、胸膜直下に認められる。

学的検討(MDD: multidisciplinary discussion)により診断されます。特筆すべきは、従来治療困難であった本疾患が近年承認された抗線維化薬によって呼吸機能の低下の抑制が証明されたことです（高額療養費制度については医療サービス課がご説明いたします）。

医療機関の先生方におかれましては、間質性肺炎が疑われる患者さん（胸部レントゲンで両側性の陰影を示したり、抗生剤が効きにくかったり、背中で乾性ラ音を聴取する方など）がいらっしゃいましたら、一度当院の間質性肺炎外来に紹介していただくと幸いです。

問合せ先 内科外来 TEL:0853-20-2381

お知らせ
島大病院ニュース

平成28年3月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース
2016年3月

お知らせ

精神科「ストレス外来」を開設します

精神科・神経科 診療科長 堀口 淳
ほりぐち じゅん

私たちの現代社会はますます複雑・多様化し、職場や学校、家庭、地域社会などの様々な領域で、ストレスが原因と考えられる疾患が発生しています。ストレスによる心身の疾患は多岐に及び、精神科関連だけに特化した疾患ばかりではありません。精神的ストレスによる障害は、最近では「ストレス障害」と称されていますが、これは従来から「心身症」と呼称されていた症状群に該当します。

この心身症の定義には、狭義と広義との2つが存在します。狭義の心身症とは、精神的ストレスが直接的原因となって発現した身体疾患や症状群のことであり、たとえば胃潰瘍や円形脱毛症など、器官や組織傷害をきたす疾患や、頭痛、不眠、下痢、食欲低下などの身体症状がみられるもののことです。一方、広義の心身症とは、元来罹患している身体疾患が、精神的ストレスによって悪化する場合を意味します。たとえば高血圧症や喘息、心疾患などの様々な身体疾患が、ストレスによって増悪するものであり、臨床現場ではこの狭義のタイプが、圧倒的に高頻度に認められます。

そこで当科では、本年4月から新たに「ストレス外来」を開設し、専門的な治療を行うことにしました。患者さんのご紹介など、どうぞ有意義にご利用下さい。



問合せ先 要予約(精神科外来) TEL:0853-20-2388



平成28年3月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース
2016年3月

お知らせ

「がん看護外来」活動しています

はた みえこ
看護部 看護部長 秦 美恵子

2015年3月より看護専門外来に「がん看護外来」を開設しました。

がん看護外来は主治医からの指示のもと、がん看護専門看護師や緩和ケア認定看護師、がん化学療法看護認定看護師、乳がん看護認定看護師が、がんと診断された時から終末期まで患者さん・ご家族のニーズに応じたケアの提供を行っています。

患者さん・ご家族にとって「がんの診断」、「再発」、「治療の変更」等は生活するうえで大きく影響を及ぼします。体や心のつらさに寄り添い、「意思決定支援」「苦痛の緩和」「専門家の橋渡し・連携」を行い、安心して治療や入院生活、自宅での生活を送ることが出来るように多職種と連携をとりながら、一緒に考え解決できるようにしています。

患者さん一人一人の生活や生き方を大切にしたいと考えています。

● 下記のような相談内容があり、対応しています。

- ・ がんという病気とどのように向きあっていけばよいかわからない
- ・ 再発と言われどうしてよいかわからない
- ・ どんな治療を選択したら良いかわからない
- ・ 痛みなどの辛い症状で困っている
- ・ 治療をしながらどのように自宅での生活を送っていけばよいのか
- ・ 今後の療養の場にはどのような選択肢があるのか
- ・ 一緒に医師の話を聞いてほしい
- ・ 本人に病気のことをどのように伝えたらよいのか
- ・ 緩和ケアについて知りたい
- ・ 副作用症状への対応について

など

● 看護専門外来にて、月曜日～金曜日にがん看護外来を開設しています

		月	火	水	木	金
看護専門外来週間表	在宅ケア指導室 1		(午前) リンパ浮腫ケア		(午前) リンパ浮腫ケア	
	在宅ケア指導室 2	がん看護	がん看護	がん看護	がん看護	がん看護
	在宅ケア指導室 3		(午前) ストマケア		ストマケア	
	在宅ケア指導室 4	(午前) 糖尿病看護 糖尿病フットケア 透析予防 自己注射支援		糖尿病看護 糖尿病フットケア 自己注射支援	糖尿病看護 糖尿病フットケア 自己注射支援	糖尿病看護 糖尿病フットケア 自己注射支援



問合せ先 看護専門外来 TEL:0853-20-2547



平成28年3月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

